

## 白川町立小・中学校再編計画 地区説明会 会議録

1. 日 時 令和4年9月3日（土）午後7時32分から午後8時44分
2. 会 場 白川北ふれあいセンター
3. 参加者 別紙名簿のとおり 12名  
町教育委員会：鈴木教育長、大岩課長、玉置学校再編専門監、鈴木
4. 資料等 別紙のとおり
5. 記 録

- (1) 開会あいさつ 大岩課長
- (2) 資料説明 鈴木教育長（19:33～20:02）
- (3) 質疑・意見等

○60代 男性A

・今回の資料は分かりやすく説明も丁寧だったので、自分としては理解できた。新校舎建設に関しては、ベースにある子どもの数が予測しづらい状況にあると思うが、それを示していくことで、地域への理解や話し合いの幅が広がることに繋がると思う。

また、図書館については、楽集館を中心とした読書活動に力を入れていただいております、読書のまちとしての本町の取り組みは他の模範になっている。しかし、現在のJAの施設については、老朽化が進んでいるのでどこかのタイミングで極力経費を掛けないように、また、お年寄りも利用がしやすい1階部分にスペースが確保できるような計画案を入れて頂けると有難い。更には、廃校後の校舎活用について、伊豆の場合は、廃校後の校舎を温泉施設に転用することでホテル経営をしている事例もあることから民間企業による跡地活用についても検討していく必要があると感じた。

○鈴木教育長

・子どもの数については、今まで黒川地区や佐見地区の説明会においても同様の質問があった。ご意見のとおりで今後の推移を見込んだうえでの計画である。年間で20名程度の出生数ではあるが、地域に小学校を存続することで何とか地域が持続できればと思っている。

また、学校の近くに図書館や給食センターがあることは子どもにとって良い環境なので、それを想定した基本計画を考え、まずは新校舎建設に取り組んでいきたい。

楽集館については町外からも評価をいただいているので、できれば提案にあったような施設をイメージして計画に入れていきたい。廃校後の校舎活用についても、現時点で教育委員会としてお示しできる妙案は無いが、佐見小の廃校後の活用について、地域による活用事例の視察に行ってきた。旧白川小、旧佐見小ともに教育財産であるが、町民、地域からのアイデアを頂き、町としての活用案について検討を進めていきたいと考えている。

#### ○玉置学校再編専門監

・施設一体型新校舎の建設等に関しては、地域と共にある学校、学校と共にある地域として今後は益々連携が大切で、そのうえで町立図書館の併設は大きなポイントになると思う。

現計画として新校舎は約7,000平方メートルの規模を予定している。学校施設は3階建てであっても、1時間準耐火という比較的低い防火基準で事業費を抑えることができるが、校舎内に図書館が入ると耐火構造となり事業費も嵩むことになる。そのため、まずは校舎建設その後、財政的な見通しを立てたうえで図書館を併設する案としている。教育長が話された基本計画、基本設計、実施設計という手順となるが、基本計画において給食センターや図書館整備を同時に考えて、有機的につながった施設として活用できるように、この下半期に白川中学校周辺の測量を行い、将来計画を含めたランドデザインを立てていきたい。

#### ○50代 男性A

・義務教育学校、美濃白川学園の内容について詳しく教えてほしい。

#### ○鈴木教育長

・学校の配置としては、3小1中の校舎をそのまま使用することになる。それを義務教育学校という制度に切り替えることで、人員配置や教育の仕方が変わることになる。これまでの話し合いで多く出た意見として、黒川と佐見を分校とし、4年生までとする点についてよく分からないというご意見を頂いた。義務教育学校になっても、地域に小学校を残した3小1中の形で学園にする予定だが、問題としては、今後の子どもの数である。揖斐川町の坂内小中学校は今年統合をしたが、かなり人数が減ったとしても教育を続けることは可能である。どこかで限界があることは予想できるが、それがいつかは現時点では明確にできない。

3小1中体制からそのまま義務教育学校になるのか、または2小1中や1小1中になる可能性もあるが、できれば3小1中体制を維持しつつ、時機を見て義務教育学校にする方向性としている。義務教育学校になると1年生から9年生までの教育課程となるが、施設一体型の場合は、6・3制のため小学校と中学校で区別されることになる。義務教育学校では、学習の幅が広がるので先生のやる気や力が必要となるので、急ぐ必要は無いと感じている。白川町のことをよく理解した先生が子供の指導をしてくれることを考えると学校を残しつつ先生たちに力をつけていただくために義務教育学校の方が望ましいという構想を持っているが、一番の課題は子供の人数がどこまで減っていくかという点である。ただし、義務教育学校に関しては、かなり先の話しであるのでまずは先ほど説明した3小中体制とし、その後の検討として義務教育学校があることをご理解頂きたい。

#### ○40代 男性A

・今日の説明は、教育的な観点からきちんと考えられた内容であり、プロの考え方により説

明いただいた方向で進めてほしい。現実的な問題として確認するが、新校舎の建設に関しては現在の計画として3年後に着工、3年間で完成という工程になっている。過去の統合準備委員会では仮設校舎の話があったと思うが、現校舎からの移動に変わったのか。グラウンドに新校舎を建設して、それまでは現校舎を使用し、令和9年に引っ越しという理解で良いか。

○鈴木教育長

・そのとおりである。以前は、別の場所の仮設校舎に引っ越し、新校舎を2年間で建設する見通しであった。しかし、財政的な問題や仮設校舎の場所によっては、通学距離が延びることが懸念されるため、現在の場所に居ながらにして新校舎を建設する形とし、更に3年間の工事期間にすることで、建設費用を平準化することとしている。ただし、補助事業としては概ね2年間が通常であり、小学校は2年間で入れるようにすべきとの県からの指導もあり、令和9年4月には、約85パーセント分を完成し、新校舎に入ることを想定している。残りの15パーセント分については、通常授業には影響の無い部分であり、現校舎を使用しながらの新校舎建設という内容で計画を見直したことをご理解願いたい。

○玉置学校再編専門監

・統合準備委員会の段階の計画案に対する質問であったと思う。当時は現状の白川中学校のグラウンド内に仮校舎を置いて、同敷地内に新校舎を建設する計画であった。ご存知のとおり山側はイエローゾーン、川側は民家があり建物配置は難しいが、仮校舎をプレハブで設置する場合にも仮設費用が必要なこと、更には蘇原小学校を仮校舎にするという案も検討したが、特に佐見からの通学は更に距離が延びることも課題となる。

また、佐見小学校が新しい校舎での2学期をスタートしたが、学校種が違くと改修工事や引っ越し作業も大変で、できる限りそうしたロスが生じないように現状の白川中学校の校舎を残しつつ、イエローゾーンを回避した道路側に建設する計画に見直したところである。その際には工事の騒音について影響がないか調査したが、高性能の防音壁の設置などの対策により影響が無いことを確認している。以上の理由から合理的な建設方法として説明をさせていただいたのでご理解願いたい。

○40代 男性A

・新校舎の完成後に旧校舎が解体され、予算の見通しが立てば、その付近に図書館や給食センターが配置されるイメージで考えてよいか。

○鈴木教育長

・その通りで、それをイメージした基本計画を立て、まずは新校舎の工事を予定していくこ

ととしている。

○50代 男性A

・新校舎の工事期間中、グラウンドの使用はどうか。

○鈴木教育長

・工事期間中のグラウンドは200メートルトラックの設置は難しくなると思う。最終的に出来上がった際にも、団結祭等におけるテント等の設置スペースは確保できない可能性がある。

完成後については資料の4ページにあるように、学校、給食センター、町立図書館、その周辺に役場、町民会館、商店街、更には大野台パークなど、校舎をはじめとした地域一帯を教材にするという考え方を持っている。そのためにも河岐に小・中学校を整備することが必要だと思っている。

○玉置学校再編専門監

・現状でも部活動やスポーツリンクの活動は、大野台パークのグラウンドや体育館を活用している。

○60代 男性B

・今日は残念ながら参加者が少なく小・中学生の保護者の参加はほとんど無い状況である。この地区は2年前にも統合を経験しており、次は蘇原小学校との統合をするが、中学校はこれまでどおり白川中学校ということであまり違和感が無いと感じている。

しかし、この地域の事を考えると坂ノ東、特に広島地区は、坂ノ東小学校以来、ずっと学校があったのが、次の統合により地域から学校が無くなることになる。今日の参加者は少ないが、協議会や自治会の役員さんには今後も説明会が開催されると思うので、地域の課題として話し合う機会をもって頂きたいと思う。教育委員会にも保護者を対象とした説明会をはじめ、次回の地域説明会を進捗状況に合わせて開催していただきたいと思う。

○鈴木教育長

・今後は新しい学校づくり検討委員会というソフト面の検討を予定している。学校統合後の学校教育の中身について並行して考えていく必要がある。次の説明会の段階では、新しい学校の施設状況をはじめ、教育の中身をもう少し見える形で計画をしていきたいと思うので、ご協力をお願いしたい。

(4) 閉会あいさつ 大岩課長 (20:44閉会)